

兵庫県地域創生戦略(2015-2019 年度)【素案】の概要

2060 の兵庫の姿(社会像・人口・経済の展望)

1 個性ある多様な地域の中で心豊かな暮らしが実現する兵庫

- ・心の豊かさを重視した生活
- ・圏域ごとの機能分散と連携
- ・多自然地域の活力維持
- ・大都市圏、郊外など個性に応じた都市形成
- ・きずなによって支え合う安全・元気なふるさとづくり

2 医療、防災、多彩な歴史・文化の蓄積、教育力等に支えられた世界トップレベルの生活環境が確保されている安全安心の兵庫

- ・技術の進化による高度医療と健康づくり
- ・地域ぐるみの要介護者等の見守り
- ・世界最高水準の防災基盤と防災意識
- ・歴史と進取の精神に富んだ高い文化水準、質の高い芸術文化
- ・高度で多彩な教育環境、高等教育の成果の地域還元
- ・豊かな自然環境と自立分散エネルギーの確立

3 多地域居住など県内での交流が進み、国内外からの来訪者が溢れる兵庫

- ・多地域居住の浸透、交流人口の半定住化による農山村地域の維持
- ・オンリーワンの地域資源を活かしたツーリズム展開

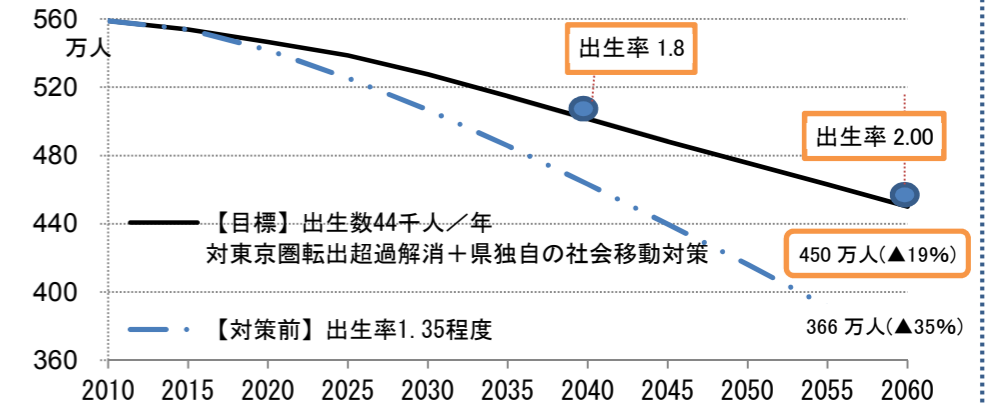
4 一人ひとりがその持てる力を最大限に発揮でき、社会を支える主人公となる兵庫

- ・ふるさと意識を持つ人の広がり
- ・一人ひとりがその能力を発揮して社会を支える、一人多役
- ・さまざまな”縁”によるつながりの広がり
- ・個人の希望に応じた柔軟な働き方、起業しやすい環境
- ・子育てが楽しくなる地域

5 世界経済をリードする基幹産業と地域に根ざした地域産業が県内全域で展開される兵庫

- ・高成長が見込まれる海外諸国との連携による経済発展
- ・世界経済をリードする先端産業の拡大
- ・地域経済をリードする力強い地域産業（オンリーワン技術等を有する中小企業やブランド力を持った地場産業）の発展
- ・ブランド力向上、経営規模拡大等による農林水産業の発展
- ・地域の生活を支える小規模な生活支援産業による地域経済の循環

○ 自然増対策（出生数の増加）・社会増対策（人口の転出超過の均衡）により、2060 年において、**450 万人の人口**を確保。



○ 2050 年代に、県内総生産(GDP)成長率で 1.5-2.0%程度を確保。県民総所得(GNI)に占める海外等からの所得の比率を高める。

地域創生の考え方

- 2060 年の兵庫の姿を見据え、2020 年まで（2015-2019 年度）の 5 年間の方針を定める。
- 兵庫の**多様なポテンシャル**や**多様な地域特性**など“兵庫の強み”を活かし、全県一律ではなく**各地域の個性**に応じた**重点的な施策展開**を図る。
- 個性が異なる各地域が、①機能を分担し互いに補完する、②目標を共有し共に進化する、③融合し高次の発展を図ることで、兵庫全体の総合力や魅力が高まるよう、「**多様性と連携**」を基本に取り組む。

多様なポテンシャル

- ①阪神・淡路大震災を経験した地としての**安全・安心対策**
- ②航空機、ロボット、環境・次世代エネルギー、先端医療等、**ものづくり**のさらなる進展
- ③大型放射光施設「SPring-8」やスパコン「京」など世界に誇る**先端科学技術基盤**の活用
- ④**多文化共生**としてのグローバル性の活用
- ⑤進取の気性に富み多彩な**兵庫人**の育成
- ⑥**平成の御食国**（食の宝庫）の確立

多様な地域特性

区分	地域特性	重点的な取組方向
大都市圏	瀬戸内臨海部に位置する日本有数の都市圏	大都市の魅力の更なる向上 ・次世代産業の育成 ・都市ブランドの構築
大都市に連担する準大都市圏	大都市に近接し、都市機能と豊かな自然を併せ持つ地方都市圏	拠点都市機能の向上 ・ものづくりの拠点 ・都市の拠点の再生
単独で成立する地方都市圏	多自然地域の魅力を有し、地域の核となる都市部を有した地方都市圏	多自然地域との連携都市 ・地域産業の再活性化 ・ニュータウンの再生
多自然地域圏	豊かな自然環境に恵まれ、多彩な農林水産業が営まれる地域	交流と連携でつなぐ多自然圏域の創造 ・農林水産業の成長産業化 ・集落のセーフティネットの確保

2020 年まで(2015-2019 年度)の目標・対策

目標

【人口対策(自然増対策)】

- 出生数:2015-2019 年度で 22 万人(4.4 万人/年)の維持

【人口対策(社会増対策)】

- 人材流入増加(流出抑制)数:5年間(2015-2019 年度)で 25,700 人(若者のしごと創出:22,500 人、ファミリー層の転入:2,000 人、壮年層の転入:1,200 人)

【地域の元気づくり(東京一極集中の是正)】

- 県内総生産(GDP)は国を上回る成長率を維持
- 県民総所得(GNI)に占める海外等からの所得の比率を高める

対策

人口対策 (自然増対策、社会増対策)	① 多子型の出産・子育てが可能な社会を実現する	※詳細は別添 施策体系を参照
	② 地域に根ざした産業を振興する	
	③ 人や企業・資本が流入する兵庫をつくる	
	④ 個性あふれる「ふるさと兵庫」をつくる	
地域の元気づくり (東京一極集中の是正)	⑤ 兵庫の産業競争力を強化する	
	⑥ 健康長寿社会をつくる	
	⑦ 住みたい地域をつくる	
	⑧ まちの賑わいを創出する	
	⑨ 県土空間の安全・安心を高める	

参考(策定の経緯)

1 時代潮流

- 人口減少、超高齢社会の本格化
- 東京一極集中の進行
- 地方都市や多自然地域を中心とする地域活力の衰退
- 巨大地震など災害リスクの高まり
- 介護・医療ニーズの高まり
- 経済のグローバル化と産業構造の変化
- 科学技術の進展
- 心のゆたかさ重視の価値観への変化

2 国の動向

- ①人口減少の歯止め、②東京圏への人口集中の是正、③各地域での住みよい環境の確保により、将来にわたり活力ある日本社会を維持するため、「地方創生」に向けた取組を始動
- 「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」策定(平成 26 年 12 月)(2060 年に 1 億人程度の人口を維持、2050 年代に実質 GDP 成長率 1.5-2%程度を維持)
- 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定(平成 26 年 12 月)(地方の安定雇用の創出、地方への人の流れの創出、若い世代の結婚・出産・子育ての希望の実現等)

3 兵庫県の取組

- 人口減少と東京一極集中という社会の構造的な課題に対応し、兵庫を担うすべての県民とともに、未来への希望が持てる兵庫を実現するため、“兵庫らしい”「地域創生」に向けた取組を始動
- 「**兵庫県地域創生条例**」施行(平成 27 年 4 月)(「地域創生」を県政の中長期の基本政策に位置付け、継続的に取り組む姿勢を明示)
- 「**兵庫県地域創生戦略**」策定(平成 27 年 10 月(予定))(2060 年の兵庫の姿を展望し、2020 年までの人口対策と地域の元気づくりの目標・対策を設定)

人口対策

「自然増」対策

～将来への希望がけない、子どもを産み、育てやすい兵庫～

基本目標1：多子型の出産・子育てが可能な社会を実現する

(1) 多子型の出産・子育てが可能な環境づくり

- ①若者の出会い・結婚のきっかけづくり
・結婚・子育て等の人生設計に関する教育や情報提供
・ひょうご出会いサポートセンター事業など男女の出会いの機会の創出
②妊娠・出産の不安解消
・妊娠や不妊・不育に対する不安解消、相談体制の充実
・周産期医療、小児医療の充実
③就学前の教育・保育への支援
・認定こども園の整備など保育環境の充実(待機児童ゼロ、病児・病後児保育対策等)
・子育てに係る経済的負担の軽減
④子育て家庭を支える社会づくり
・子育てについての相談・指導の充実、養護相談・里親の支援等
・県営住宅を活用するなど三世帯近居の推進
・まちの子育てひろば、子どもの冒険ひろばなど親子の居場所づくり
・放課後児童クラブの整備等の放課後対策
・小学1～4年の35人学級制や兵庫型教科担任制など学校教育の充実

(2) 将来への希望や生きがいを持てる多様な働き方の創出

- ①女性の仕事と育児の両立支援
・ひょうご仕事と生活センターと連携したワーク・ライフ・バランスの推進
・出産・子育てとキャリア形成の両立に向けた啓発
・女性登用に取り組む企業への支援など子育て支援企業等の拡大
・男性の育児・家事への参加促進
②若者の雇用の安定化
・就職前の就業体験による職場定着の支援
・ひょうご応援企業をはじめ、若者と企業のマッチング促進
・若者が起業や再チャレンジしやすい仕組みづくり

「社会増」対策

～人が交流し、人が集まり、人が定着する兵庫～

基本目標2：地域に根ざした産業を振興する

(1) 地域における農林水産業の振興

- ①農林水産業を担う人材・経営体の育成
・多様な経営体(個別経営体・法人経営体等)の育成
・集落営農組織等の法人化や企業参入を促進し、新規就業者の雇用を創出
・施設等の貸与制度、技術研修・指導等による新規就業者の育成
②農林水産業の経営基盤の強化
・農地中間管理事業の推進による担い手への農地の利用集積の促進
・効率的な農業を実現するほ場の大規模化、用水のハイライン化の促進
・機械化やICT技術等の活用による省力化
・酪農の生産基盤の拡大

- ・伐採の低コスト化等による木材の安定供給の促進
・次世代型漁船への転換等による漁業の近代化

(2) 地域における商工業の振興

[分野別取組]

①全国有数の地場産業の振興

- ・地場産業の国内外への販路拡大、ブランド力強化(全国1位:灘の酒、カカジュース、皮革、手延素麺、豊岡の鞆、釣針、線香など)
・デザインとタイアップした新製品開発、マーケット対応力強化
・ひょうご天然皮革のブランド化推進

②地域商業・商店街の活性化

- ・まちの再整備を活用した商店街の再編による賑わいづくり
・商店街の元気づくりや個店対策(空き店舗再生、事業継続)への支援

③生活充実関連サービス産業等(対個人・対事業所サービス業)の振興

- ・先導的・モデル的なサービス産業のマーケット拡大支援
・高齢者等の生活を支えるビジネス(配食・宅配サービス、家事代行サービス)の立ち上げ支援
・ITを活用したサービスの拡大

[横断的取組]

①起業・創業の拡大

- ・多様な主体(若者、女性、UJIターン者等)による起業の促進
・創業立ち上げから成長までの一貫支援(ビジネスプラン構築や販路拡大等のマーケティング支援)
・起業できる創造性豊かな人材の育成

②地域で頑張る企業の成長支援

- ・投資型クラウドファンディングを活用したビジネスプランの発掘・成長支援
・異業種交流の活性化等による新製品・新技術開発の促進
・中小企業・小規模事業者の経営革新や設備投資への支援

(3) 地域における観光・ツーリズムの振興

①農・食・健康関連産業と結びついたツーリズムの展開

- ・日本酒ツーリズムなど食農ツーリズムの推進
・体験農業・漁業などの展開
・「五つ星ひょうご」など特産品の開発・販路拡大
・温泉、スポーツ(ゴルフ、ダイビング等)などの健康に視点をのいたツーリズムの展開

②ひょうご五国の地域資源を活かしたツーリズムの展開

- ・兵庫ならではの資源(世界遺産姫路城、山陰海岸ジオパーク、鳴門のうず潮、阪神・淡路大震災からの復興、コウリの野生復帰等)、産業施設・遺産(鉱石の道等)、文化・伝統行事(テカシヨ節等)を活用した滞在・体験型のツーリズムの推進
・古民家や未利用資産などリノベーション宿泊施設の整備・活用

③海外からの誘客促進

- ・外国人観光客の受入基盤整備(Wi-Fi環境の整備、免税店の拡大等)
・外国人の生活習慣にあわせた受入体制の整備(ハル対応等)
・効果的な海外メディア戦略
・広域連携(関西広域連合、瀬戸内ブランド推進連合等)でのイバウンド誘客の促進

④兵庫の魅力を活かす戦略的な観光プロモーション、観光人材の育成

- ・あいたい兵庫キャンペーンの展開
・観光産業の若手経営者の育成、従業員確保・定着支援

(4) 地域における健康・福祉の推進

- ①地域特性に応じた福祉・介護施設の整備促進
・地域密着型特養、広域型特養の計画的整備
・定期巡回・随時対応サービスの拡大
②福祉・介護人材の育成
・福祉現場の処遇改善、マッチング、職員のキャリアアップ支援

基本目標3：人や企業・資本が流入する兵庫をつくる

(1) 人や企業・資本の流入促進

- ①兵庫で活躍する人材の誘致
・若者等のUJIターンの促進(県外大学生のUJIターン促進、ふるさと起業・再就職支援等)
・海外からの高度人材(研究者・技術者・経営者層等)の誘致
・国内外での情報発信の強化
②企業立地・投資の促進
・県内外企業の立地促進、既存企業の県内拠点での事業拡大への支援
・兵庫ゆかりの企業への働きかけ
・市街化調整区域での既存工場の継続等を支援する開発許可制度の基準改正
・IT関連企業等の立地促進
・グローバル企業(外国・外資系企業等)の立地促進
③競争力ある産業の創出による人・企業の流入促進
・次世代産業(航空機等)のサプライチェーンを構成する中小企業等への支援
・医療・介護機器の開発促進等による神戸医療産業都市等でのクラスター形成
・中小企業における高度技術者の確保

(2) 人や企業が流入する基盤づくり

- ①便利で快適な公共交通の実現
・路線バスやコミュニティバスの運行支援など生活交通バスの維持・確保
・地域の移動手段となる鉄道網の維持への支援
②ICTインフラの整備
・Wi-Fi環境や超高速ブロードバンドなど高度情報通信基盤の確保
③地域からのエネルギーの確保
・地域に応じたエネルギーの確保
・低廉で安定した電力量の確保

基本目標4：個性あふれる「ふるさと兵庫」をつくる

(1) 地域活力の再生

- ①地域再生大作戦の展開による多自然地域の再生
・全国に先駆け取り組んでいる「地域再生大作戦」の展開による地域の自主的・主体的な取組支援、地域再生の促進
・ふるさとづくりに関わる人材の育成、活動状況の情報発信
②移住・定着の促進
・仕事・住まい・食・観光等の移住に関する総合的情報の発信拠点の整備
・兵庫で県民が夢を描き、挑戦し、実現することを支援する取組の推進
・大都市から多自然地域まで多様な地域特性を有する兵庫ならではの暮らし方の提案(楽農生活、定年就農、都市部・多自然地域の二地域居住等)
・空き家・県営住宅の活用やお試し居住施設の紹介による移住・定着促進
③兵庫へのふるさと意識の醸成
・トライやる・ワークや自然学校など特色ある体験学習をはじめとする多彩なふるさと教育、ふるさとづくりへの参画推進
・地域で育まれてきた祭りや伝統行事、郷土芸能など、住民の心と地域を結ぶ「地域文化」の振興

地域の元気づくり —東京—極集中の是正—

～活力と安心に満ち、暮らしやすい兵庫～

基本目標 5：兵庫の産業競争力を強化する

(1) 兵庫の強みを活かした産業力・技術力の強化

①スパコン「京」等の先端科学技術基盤の活用による新産業の創出

- ・スパコン「京」、SPRING-8 等科学技術基盤の産業利用促進
- ・産学官共同研究の推進

②次世代産業（航空機、味、環境・次世代エネルギー、先端医療等）の創出

- ・次世代産業(航空機等)のサプライチェーンを構成する中小企業等への支援
- ・水素エネルギー関連技術の開発
- ・医療とものづくり産業を結ぶ医・産・学連携拠点の形成
- ・兵庫県 COE プログラムにおける次世代産業の重点支援
- ・新産業創造研究機構（NIRO）、研究開発を支援するベンチャーキャピタルなど阪神・淡路大震災からの産業復興の枠組みの有効活用
- ・神戸医療産業都市のポテンシャル、国家戦略特区の特例を活用した先端医療関連の事業化支援
- ・ICT を活用した健康ビジネスの創出

(2) 世界に飛躍する兵庫の中小企業（オンリーワン企業）の創出

①技術力の強化等による中小企業の成長・育成

- ・県立工業技術センターの産学官連携プロジェクト等による技術力の強化・高度化
- ・新たなものづくり手法（デジタルエンジニアリング等）の導入支援
- ・新事業展開や設備投資等への金融支援の拡充

(3) 兵庫の人・企業の世界化の推進

①次世代産業の世界拠点化と本県企業の国際展開の促進

- ・次世代産業（医療、環境等）分野での国際的なリサーチ（イノベーションネットワーク、サプライチェーン、販路等）の構築支援
- ・アジア新興国、アフリカなど成長する世界市場を取り込む企業の海外展開への支援と経済連携の強化
- ・JETRO、JICA 等と連携した海外事業展開
- ・地場産品、農林水産物等のブランド化と海外への販路拡大

②国際性豊かなビジネス・生活環境を活かした企業・人材の誘致

- ・グローバル企業（外国・外資系企業等）の立地促進
- ・海外からの高度人材（研究者・技術者・経営者層等）の誘致
- ・外国人留学生の活躍支援

(4) 食の宝庫「御食国ひょうご」の強みを活かした農林水産業の展開

①大消費地に近接する立地を活かした農業（都市近郊農業）の展開

- ・商品価値の高い農産物の産地づくりと経営規模拡大や複合経営の促進
- ・水稲から野菜・果樹栽培への転換

②神戸ビーフの需要拡大に伴う但馬牛の増頭・増体の促進

- ・交雑種肥育牛への受精卵移植等による但馬牛の増頭対策の促進
- ・増体性の優れた但馬牛の選定・交配等による但馬牛の増体対策の促進

③新たな木材需要の拡大と持続的林業経営を担う高度人材の育成

- ・CLT や兵庫県が開発した技術（Tajima TAPOS）の活用による木材利用の促進
- ・木質バイオマス発電向け木材利用の拡大
- ・原木供給団地と林内路網の整備・路網拠点の整備による木材供給促進
- ・新たな育成機関の整備、研修制度の充実等による高度な技術を有する人材の育成

④需要に対応できる魅力ある水産業の展開

- ・一粒がき、ウニ、アジ等の複合養殖経営の促進
- ・スリカニ等漁獲体制の強化

⑤ブランド戦略としての「兵庫の食文化」を国内外に発信

- ・兵庫県認証食品の生産・新たな流通拡大
- ・神戸ビーフ、淡路島たまねぎ、丹波黒大豆等の評価の高い農畜産物の輸出拡大
- ・ひょうごの魅力ある産品を活用したiVIL の開発と併せ、兵庫の食文化を海外に輸出

(5) 地域や産業を支える人材力の充実

①次代を担う人材の育成

- ・職業教育の充実、工業・農業拠点校での技能・技術の習得
- ・兵庫県立大学の地域・企業ニーズに即した人材養成などの機能強化
- ・ものづくり大学校、但馬技術大学校等における高度技術者の育成

基本目標 6：健康長寿社会をつくる

(1) 一人ひとりが生き生きと暮らせる健康長寿社会づくり

①健康寿命をのばす健康づくり対策の推進

- ・企業と連携した健康づくりの取組の拡大
- ・ごはん、大豆、減塩による食の健康運動の推進
- ・地域ごとの疾病状況に応じた早期発見、重症化予防

②地域医療対策の推進

- ・医療圏域ごとの体制の充実・連携、地域医療人材の養成、確保

(2) 高齢者等誰もが安心して暮らせる地域社会づくり

①高齢者が安心して住める生活環境の整備

- ・サ高住、グループハウスなど要介護度等に応じた多様な高齢者住宅の整備促進
- ・地域サポート型特養等を活用した兵庫独自の地域（在宅・施設）における介護・見守りの体制整備

②認知症の方も安心して暮らせる地域社会づくりの推進

- ・容態の変化に応じた切れ目ない医療・介護の連携
- ・認知症への理解と対応に努める金融機関やスーパー等の拡大

③元気高齢者の社会参加、生きがいづくり・能力発揮の支援

- ・高齢者の社会参加の促進、就労の支援

④エバーグリーン社会づくりの推進

- ・街なか・公共交通機関・住宅等のバリアフリー化

⑤障害者の就業、社会参加の推進

- ・障害者の一般就労の拡大、地域生活への移行支援

基本目標 7：住みたい地域をつくる

(1) 安心で豊かな暮らしの質の向上

①高度で多彩な兵庫の教育環境の充実

- ・小学校5・6年生での「兵庫型教科担任制」など小中学生の学力の向上、外国語教育の充実によるグローバル化への対応
- ・私立学校教育の充実、県内大学と産業界との連携による機能強化

②県立芸術文化センター等を核とした芸術文化の振興

- ・美術館、博物館など兵庫に立地する多彩な芸術文化基盤を活かし、住民が質の高い芸術文化を身近に感じられる地域づくり

③東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会、関西ワールドマスターズゲームズ 2021 等を見据えたスポーツの振興

- ・トップレベルの競技スポーツや世代間交流を促す生涯スポーツ、障害者スポーツの振興

④体感治安の向上

- ・自主防犯活動の拡大、地域の見守力の向上

⑤快適なまちなみ空間の形成

- ・県民緑税を活用したまちなみ緑化の支援
- ・良好なまちなみ景観の形成

⑥多文化共生社会の実現

- ・外国人の教育・住環境整備による国際性豊かな地域づくり

(2) 豊かな環境の保全と創造

①自然再生の推進

- ・豊かな森・海の再生、有害鳥獣対策

②再生可能エネルギーの導入促進

- ・太陽光発電、バイオマス発電、小水力発電等の導入促進

基本目標 8：まちの賑わいを創出する

(1) 活力あるまちづくり

①都市機能を高める“ひょうご都市ブランド”づくりの推進

- ・神戸等の都心機能の強化に資する市街地整備の推進
- ・自転車を活用したまちづくり

②ニュータウンの再生

- ・明舞団地の再生など郊外型住宅団地の再生モデルの形成
- ・ホルトニュータウン等の再生による地域活力の向上

③地方都市における拠点の形成

- ・歴史的・文化的資源の活用
- ・市街化調整区域における地域拠点の形成

④ネットワークの強化による交流の促進

- ・路線バスや地域の移動手段となる鉄軌道の維持

⑤地域特性を活かした都市計画の推進

- ・都市計画区域マスタープランの見直し

(2) 地域の資源を活かした取組の推進

①都市公園の利用促進

- ・地域の核となる都市公園の整備・管理の推進

②未利用資源等の有効活用

- ・空き家・空き地の有効活用
- ・公共施設・公的不動産の活用促進

基本目標 9：県土空間の安全・安心を高める

(1) 防災・減災対策の総合的推進 ～ 日本一安全な兵庫を創る ～

①南海トラフ巨大地震等に備えた防災・減災の取組の着実な実施

- ・津波防災インフラ整備、建築物・住宅等の耐震化

②山地防災・土砂災害対策 5 箇年計画などに基づく土砂災害・風水害対策の計画的実施

- ・山地防災・土砂災害対策の推進、災害に強い森づくり
- ・総合治水の推進

③地域自らで地域を守る地域防災力の向上

- ・自主防災活動の拡大、平時からの避難体制の整備

④阪神・淡路大震災の経験・教訓の継承、発信

- ・1.17 は忘れない、東日本大震災被災地への継続支援
- ・国際防災関係機関との連携、防災人材の育成

(2) 県土を支える基盤の充実

①社会インフラの老朽化対策の推進

- ・橋梁・トンネル・港湾施設等の老朽化対策の推進

②基幹道路ネットワーク等の整備推進

- ・高規格幹線道路等の整備推進

③港湾の機能強化・利用促進

- ・阪神港等の集積・モダリティの促進

④空港の有効活用・利便性向上

- ・関西・大阪・神戸空港、但馬空港の利用促進

地域別戦略

県民局・県民センターごとの地域特性に応じた「県民局・県民センター地域創生戦略」